

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ペガサス 組	8 月 4 日 (月)	新井

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス～水～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
① 水ってなに？ ② 水は変化する？		
時間	活動スケジュール	環境設定・準備物
9:45	各自紙コップ・お花紙の色を3～4色選んで席につく ・紙コップに水を入れる。 ・お花紙をちぎり、コップの中に入れてみる。 ・お花紙がどう変化するかを見る (水に色がつくか・お花紙がとけるか) ・5分後・10分後と時間の経過と共に観察をしていく。 ・午後まで見てみる	・紙コップ ・おはな紙 ・水
15:30	おやつを食べた後、再度紙コップの中を確認をし、今度は冷凍庫に入れるのに、B1事務所に下りる。 ※夕方は、全員がいるわけではないので、明日の午前中に冷凍庫より取り出しをしてみる。	
9:45	・翌日(8月5日)事務所の冷凍庫から取り出しをする。 ・保育室に戻り、凍っている物をたらいにあけて、昨日との違いを観察をする。 ・実際に触って見る。 ・氷の感触やお花紙がどうなるかを見た時に「いつ全部溶けるかな？」という声上がり、しばらくそのままにしていく。	
13:05	氷が溶けているか見る。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
・先月から水への興味が高まっている様子が見られており、「水にこれを入れてたら変わる？」という発言が多く見られたので、水の性質について触れる活動を行いました。「花紙を見ずに入れると水に変化はあるか」の実験では、花紙の反射して色水ができたように見えていましたが、「花紙を持ち上げるとまだ、透明だよ」と気づいたり、5分後、10分後と様子を記録し、テイクと「花紙が少しずつ溶けている様子はあるけれどまだ色水じゃない」とわかり、午後まで置いて様子を見ると、「少し溶けたけど全部は溶けなかった」「水の色は変わったけど、水が無くなってはない」という結果を子どもたち自身が言葉にして、気付く姿が見られていました。また、その水を凍らせると「水の所だけは透明で花紙と分かれて固まってる」と言ったり、花紙が水に沈んで氷の上部のみずだけになっていることにも気付いたり、「冷凍庫に入れるとなんで凍るんだらう？冷凍庫ってどうなるの？」と興味広がった。	一つひとつの作業をしながら、気づく場面が多く、保育士のほうが圧倒されることが多かったと感じている。子どもたちの発する言葉に耳を傾け、何度も何度もみんなで図鑑や、園にある本などでしらべてみた。このことで、調べるということが見に着くと良いと感じている。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
先月した流れをちゃんと理解しており、8月のサイエンスだけでなく水の実験ということで、子ども達の想像をそれぞれ言葉にしたり、一緒に調べてみたり、実際に、触れてみることで疑問ができて、その先を見据えてなのか、自分達で次のことを考えて行動を取るということも芽もでてきていることを感じました。	・どんどん視野が広がっていきますね。 子ども達にとっては今までにない作業かも知れないので主体性の部分を活かして子ども達自分たちでやれることはやり、保育士も加わることで、もっと視野を広げることも必要になるときもありますので、その時には、子どもと同じ目線で導いていただくと嬉しいです。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ペガサス 組	7 月 14 日 (月)	新井

● 実施計画

活動テーマ													
食べ物～水～													
活動テーマに関する 日頃の興味関心について													
① 水ってなに？ ② 水はどこからくるの？													
活動スケジュール	環境設定・準備物												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:45</td> <td>絵本「しずくのぼうけん」を読み聞かせをする。</td> </tr> <tr> <td>10:15</td> <td>B1 園外エントランスに出る。 ・水道にホースをつけ水を流し、バケツに溜めてみる。 ・ため水から水鉄砲で水を汲み上げル様子、押し出す様子を観察する。</td> </tr> <tr> <td>10:45</td> <td>・一旦、手を止め、水分補給をして、やってみた感想と発見したこと、疑問に思った事をみんなで出し合ってみる。</td> </tr> <tr> <td>11:20</td> <td>みんなで出したことに気をつけて再度やってみる。光の向きや水泡が出るかどうか、虹を作るにはどの向きで水を押し出すと出来るかも意識をして行ってみる。</td> </tr> <tr> <td>11:50</td> <td>片付けをして、2階ペガサス組保育室に戻る。</td> </tr> </tbody> </table>	時間	内容	9:45	絵本「しずくのぼうけん」を読み聞かせをする。	10:15	B1 園外エントランスに出る。 ・水道にホースをつけ水を流し、バケツに溜めてみる。 ・ため水から水鉄砲で水を汲み上げル様子、押し出す様子を観察する。	10:45	・一旦、手を止め、水分補給をして、やってみた感想と発見したこと、疑問に思った事をみんなで出し合ってみる。	11:20	みんなで出したことに気をつけて再度やってみる。光の向きや水泡が出るかどうか、虹を作るにはどの向きで水を押し出すと出来るかも意識をして行ってみる。	11:50	片付けをして、2階ペガサス組保育室に戻る。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本「しずくのぼうけん」 ・バケツ ・水鉄砲 ・ホース ・園帽子 ・水分
時間	内容												
9:45	絵本「しずくのぼうけん」を読み聞かせをする。												
10:15	B1 園外エントランスに出る。 ・水道にホースをつけ水を流し、バケツに溜めてみる。 ・ため水から水鉄砲で水を汲み上げル様子、押し出す様子を観察する。												
10:45	・一旦、手を止め、水分補給をして、やってみた感想と発見したこと、疑問に思った事をみんなで出し合ってみる。												
11:20	みんなで出したことに気をつけて再度やってみる。光の向きや水泡が出るかどうか、虹を作るにはどの向きで水を押し出すと出来るかも意識をして行ってみる。												
11:50	片付けをして、2階ペガサス組保育室に戻る。												

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・6月の光の反射の実験で水を使用し、水の性質に興味を示した子ども達、7月は「水はどこからきて、どこに行くの？」という問いかけをすと「水道から？」「土の中であいいにして水道から流れるってママが言った」「下水溝にいく」とそれぞれが生活の中で学んだ知識を発表してくれました。</p> <p>・水が生活の中でどのような流れで生まれているかを描かれている「しずくのだいぼうけん」という絵本を読むと「一回じゃ難しいからもう一回見る」と言って全ページを読み直し、一ずつ理解しようとしていました。</p> <p>・水遊びでは、水が渦を巻いたり、泡ができたりする様子を観察し「なんでかな？」「水って変わってる？」と疑問を持ったり、先月の実験を思い出し「水鉄砲でにじが作れるかも」と言って何度も挑戦してみた。</p>	<p>・水鉄砲のピストンを動かすと「水が動いている」と水に変化に気づいたり、「なんで泡が出るんだろう？」「どこから来るのかな？」と観察をしていました。</p> <p>・「どこに水を出すと虹が出来るかな？」と光との関係を考えながら水鉄砲から水を飛ばしていました。</p> <p>・・ホースから水を流し入れると「水がグルグル回っている」と水の流れの変化を観察したりしていました。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・1つ1つ、確認をするかのように実験を行ってみたり、疑問に思ったことを言葉にしているのが微笑ましく感じたのと、目で見るという観察力が凄いことにも驚かされました。</p> <p>・保育室に戻ってからも、声を掛け合って給食の準備をそっこのけで図鑑を見直して、同じ感じの物が見つかったとちょっと、声が大きくなり興奮してみて里と子ども達のわくわく間が伝わった1か月でした。</p>	<p>・子どもたちの観察力は凄いですね。初めてのことでありますが、本児たちなりに試行錯誤で、チャレンジしている姿は、さすが最年長と感じています。</p> <p>このちゃれんじ精神を忘れず、これからも取り組んでいただけると嬉しいです。</p> <p>舞津野活動内容にとらわれず囚われず、続けていけるものはそのまま続けてみましょう。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ペガサス 組	6 月 18 日 (水)	新井

● 実施計画

活動テーマ		
アート ～色について知ろう～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<ul style="list-style-type: none"> ・電車もいろんな色があるけど ・色は混ぜると面白いよね ・はじめから、あか・あおってなっているのかな 		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
09:50~10:05	<ul style="list-style-type: none"> ・色って何色があるのかみんなで出し合ってみる。 ・色をわけるとしたらどこに入るか(暖色・寒色・中性色)と分けてみる。 ・色の違いをする。 	【環境設定】 ・ グループで話をしてみる 【準備物】 ・ 原材料の写真 ・ 色見本 ・ 絵具 ・ パレット ・ 筆 ・ 色画用紙 ・ ホワイトボード ・ ホワイトボードマーカー
10:05~10:45	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に色分けをしてみる。 ・色の原材料などをみんなで見てみる ・色が出来るまでの話をしてみる。 	
10:45~11:45	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に色作りをしてみる。 	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・何色くらい知っているのか色の名前を出し合ってみる。 ・色の単色はすぐにいえるが、ピンクを作るのにどの色とどの色を混ぜると出来るという問いかけに。実際に色を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あか・あお・きいろ・みどり」など単色を答えるのは簡単という表情モしているが、「おおどいろ」はどう作る? 「ピンク」は、どう作る? 「しろとあか」とわかっているものに関してはすぐに答えが出るが、混ぜて出来る色に関しては難しさがものによってはあるので、実際にやってみることにすると、わからない色から作りはじめた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・男の子たちの電車の色から始まり、その中でも色はどこから来るのかが不思議そうな表情となっていた。色の原石をの写真を見た時に「これが色なの?」「なんで?」という疑問形が多く、早く色作りしてみたいという気持ちが先に達、落ち着かない様子だったので、色づくりを初めて見ると、最終的に全部の色「青・赤・希」を混ぜると「くろ」になることを発見する。その時に表情は何ともいえないものとなる。次回ももう少し色はについて行って行きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の不思議さん子どもたちにとって目を輝かせるものとなりましたね。色の原石も初めて見るものが多いのではないのでしょうか? 次に行う時にはどんな発見があるか楽しみです。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ペガサス 組	5 月 14 日 (水)	新井

● 実施計画

活動テーマ		
おかねってなあに		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<ul style="list-style-type: none"> ・買い物に行くときに必要なものは何か？ ・どんなお店があるか？ ・どうしたら、お金がてに入るのか 		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
09:50~10:05	<ul style="list-style-type: none"> ・以前よりお店屋さんをやりたいとはなしたができていたので、改めてやってみるのか、やってみるとすると、どんなお店があるのかをあげてもらう。 ★上がったものは書き留める 	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて話し合いをする。 <p>【準備するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード ・ホワイトマーカー ・色画用紙 ・紙粘土 ・クレヨン ・絵具 ・廃材 ・折り紙 ・わた ・毛糸
10:05~11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、話をしたときのお店屋さんの名前を、再度確認をする。まだ、ほかにもあるのであればだしてもらう。 ★ドーナツ屋さん ★たこ焼き屋さん ★かき氷屋さん ★おもちゃ屋さん ★バナナチョコ屋さん 	<p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前にやりたいと言っていたお店屋さんのリストを作成する。
11:05~11:45	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんについてかうために必要な物は何があるかを話す。 ★おかね ★紙のおかね ★コイン ・材料を使用して製作をする。 	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>以前よりお店屋さんごっこをやりたいと言っていただけのことではあり、お店屋さんの名前、どんな材料を使って作るか、など真剣そのものであった。おかねに関して話をし、実際に、物を作ってから値段を決めるがよいということに成作業を開始。まるで工場のように、手分けをして作業をする。</p>	<p>お金の話をしている時に、「お母さんからもらう」「カードがあるじゃん」「カード持っているの」の質問に「ママにももらった」などまさに現代と感ぜられる場面もあった。「そのお金はどうやって出来ると思う」の投げかけに、「うー、働いて会社からもらう？」などの言葉が出来、仕組みとまでは行かなくともなんとなく理解をしている子もいた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>「カード」というキーワードが出てきたときには、まさに現代だと感じました。おかねの仕組みまでは行かないが、これは使えるこれは使えないと判断しているように思えた。次回は物を作りながら、どんな言葉が出るかが楽しみである。4歳児も一緒に考えると5歳が遠慮勝ちになってしまうことにも気がついた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児の優しさが、でていましたね。先生も気づいているようでしたが、今後話し合いなどをするときには別々に行うと良いかと思しますので、実践していただけたらと思います。 ・おかねの仕組みはまだまだ、わからないこともあるかと思いますが、実際に、商品が出来上がり、お店屋さんごっこの時に再度話をしてみましよう。